

桑名市議会議長
南 澤 幸 美 様

教育福祉委員会委員長
森下 幸泰

議会いきいきトーク実施結果報告書

開催日時	令和5年 11月27日(月) 13時00分 ~ 15時00分
開催場所	柿安シティホール 3階大会議室
出席議員	教育福祉委員会 9名 森下幸泰(委員長)、渡辺仁美(副委員長)、松田正美、畑紀子 多屋真美、近藤奈歩、伊藤知美、市野修平、藤本直子(記録者)
参加者	桑名市私立保育連盟 12名
概要	*保育の適切化について *保育士不足の解消について
主な意見・要望	○グループ討議での意見(1グループ園長4名と議員3名の3グループ) A)・人手不足である 大切なお子さんを預かっているという教育が必要なのでは ・保育士の人数がいれば質が良くなるわけではなく質をどう向上させるのが大事 ・加配児を受け入れるにあたり環境を整える必要があるが現場の疲弊もありその子にとって何が必要かを考えるにあたり市のサポートをお願いしたい ・判定システムや仕組みの在り方の見直しをお願いしたい B)・不適切保育の影響がいろんな方面にでてきている中、研修を行っていただいたが一時的なものではなく継続して働く保育士を市として守る仕組みを考えてほしい(例えば顧問弁護士にいつでも相談できる体制づくりなど) ・保育士に余裕がなくなっている 働き方改革が必要である 掃除の分担や高齢者を雇用しての子ども見守りなど分業化も工夫している 桑名市として子どもたちが増える市になるよう議会や市長がさらにアピールしてほしい。

	<p>C) ・加配児に対して補助金以外にも市がサポートしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加配児が増えてきている中、保育士の体制がついていかない ・桑名市として保育に対して大きなビジョンが見えない ・保育園から小学校への連携がとれていない 行政が行ってほしい ・保育士のメンタルケアをする為の時間も余裕もない こちらから出向くのではなく、臨床心理士などが園に巡回して保育士に話しかけてほしい 市長カフェで直接保育士の声を聞いてもらえたことは大変良かった 議員も現場の保育士の声が聴ける場を持ってほしい 行政、保育園、学校は一体となって子どもや保護者のことを考えられる制度を作してほしい ・公立・私立の園で繋がって課題を情報共有する場が必要 <p>○全体討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの課題をこの場だけで終わらせるだけでなく継続して勉強会など定期的に会っていける機会を作ることが必要 ・保育士の配置基準を考えてほしい ・保育士の獲得に対して市に給与の補助をお願いしたい
備 考	